

應神天皇より神功皇后の成腹より宿りてなり時種
の異端ありけき因果して之韓より退治しめし
今の世より武家比叢祖より無き尊八協大菩薩も崇
めしんば如何様もい若君もは誕生の後業
頼公の如く法守府の將軍よりなりぬるやとや
私語合ひけり此等の女房なる精進信心の砌より彼
守之後の天狗神も折くもくくやとやと義光
の爲人と其器量武將と謂ふべし世の談より山を板さ
鼎を揚ぐる力無くば千里の　も又難得といふを前言

後語より符合せし實に義頼の跡と可追人なり

山名一叫軒行録並他歌附之事

義是いたる由よりなるへし胸置山へ詣り北陸道と經り
諸水初脚より多しける爰より義是は法由より山名一叫軒
と聞えし一軍御の張良が秘書を傳へ謀範まで堅固
りして孔明が才智を得て君と敬ひ士と和し下を慈
むとて文武の師範と定め先祖諸代の諸士と等し
其功を記めし是利將軍義満公の御時明德二